

月刊「いいテク・ニュース」Vol. 111 2012.5.16

□ ■ (株)技術情報センター _____ ■ □

「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□ ■ _____ 2012.5.16 Vol.111 ■ □

先週から今週にかけて気温のアップダウンが大きい日が続いています。

特に関東では竜巻、雹(ひょう)の被害が出ています。

5月は風薫り、百花繚乱、すがすがしいイメージがありますが、今年に限らず雹の被害が一年を通じて一番多いのが5月とのことです。

歳時記によりますとその「雹」は夏の季語で、初夏に降って果樹や野菜に被害を及ぼすとされています。

突然の気象変化にはくれぐれも注意しましょう。

雹晴れて豁然とある山河かな

村上鬼城(むらかみ きじょう)
(1865-1938)

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第111号をお届けいたします。

前回の「いいテク・ニュース」から、今回まで約2ヶ月間隔がございました。

今回以降は奇数月にご案内をお届けすることになりました。

これからもよろしくお願い申し上げます。

今回は2012年6月開催19セミナーと新規取り扱い書籍情報をお届け致します。

最後までお読みいただくとありがたいです。

□ ■ _____ ■ □
index

□ ■ _____ ■ □

- ◇セミナー情報[2012年6月開催セミナー/19件]
- ◇おすすめセミナーPick Up
- ◇新規取り扱い書籍情報(10タイトル)
- ◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
- ◇E-mail変更・不要について
- ◇雑記帳

□ ■ _____ ■ □

セミナー情報
[2012年6月開催セミナー/19件]

□ ■ _____ ■ □

当社主催セミナーを、日付順でご案内致します。

詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

■ 6月 7日(木)-----

デシカント空調システムの基礎・構成・設計例と
導入のポイント・評価及び開発動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120605.html>

～海外へ日本の鉄道及び関連技術を売り込め～
海外鉄道関連ビジネスの最新動向とビジネスチャンス
<http://www.tic-co.com/seminar/20120607.html>

■ 6月 8日(金)-----

廃棄物／バイオマス発電システムの実際
(現状・課題・対策・評価・展望)
<http://www.tic-co.com/seminar/20120603.html>

～すぐ役に立つ～
エアコンプレッサ及び圧縮エアの実践的省エネ技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20120610.html>

■ 6月12日(火)-----

プラントコストの見積とコスト管理・コントロール方法
～コストエンジニアリングの実践～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120612.html>

マイクロ波・高周波による加熱・乾燥技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20120614.html>

■ 6月13日(水)-----

－エクセルを用いた解析ソフト付き！！－
吸着技術の基礎・測定・解析と吸着分離操作・装置設計
<http://www.tic-co.com/seminar/20120602.html>

改正廃棄物処理法のポイントと対応
～廃棄物に関わる法規制の基本から違反とならないための
ポイント、本格施行から1年を経過した改正廃棄物処理法の
基礎から、具体的な事例を基にした不適正処理に巻き込まれ
ないためのポイントを企業のご担当者向けに平易に解説～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120618.html>

■ 6月14日(木)-----

－分野・経験年数不問－
～技術者が出会う熱に関する問題を解決するための基礎知識が
身につく～
伝熱の理論と応用
～熱はどのように伝わり、そしてどう活用または始末するのか～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120604.html>

石油・ガス生産現場における随伴水・汚染水の水処理技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20120619.html>

■ 6月15日(金)-----

水処理用膜ろ過プロセスの基礎と応用
～膜ろ過に必要な基礎知識から膜ろ過対象液の評価、
膜ろ過プロセス設計・運転管理のポイントを含め平易に解説～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120611.html>

粉碎の基礎・ボールミル・ビーズミル技術と
粒径変化予測・操作条件最適化及び最適設計
<http://www.tic-co.com/seminar/20120608.html>

■ 6月18日(月)-----

リチウムイオン電池など二次電池からの
レアメタル分離・回収・リサイクルの技術開発動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120615.html>

■ 6月19日(火)-----

排水処理装置の設計法
～貯留槽・凝集反応槽・濾過器等基本プロセスと
活性汚泥処理、膜分離活性汚泥処理(MBR)、高度処理等における
設計のポイントと留意点までを平易に解説～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120601.html>

藻類によるバイオ燃料生産の最新動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120616.html>

■ 6月20日(水)-----

地熱発電の現状・経済性と技術開発など最新動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120617.html>

プラント配管設計の要点と要素技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20120606.html>

■ 6月21日(木)-----

プラント主要装置廻りの配管設計
～タワー、ドラム、タンク、コンプレッサ、ポンプ、
熱交換器、エアフィンクーラ、パイプラック～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120613.html>

■ 6月22日(金)-----

異相系攪拌・混合の理論及び装置設計と
スケールアップ・最適ミキシング技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20120609.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いです。

- 2012年6月開催セミナー
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-06.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

- ■ ————— ■ □
おすすめセミナーPick Up
- ■ ————— ■ □

今回のPick Upセミナーは

—エクセルを用いた解析ソフト付き！！—
『吸着技術の基礎・測定・解析と吸着分離操作・装置設計』
です

- 講師 明治大学 理工学部
応用化学科 教授
工学博士 古谷英二 氏

【専門】

1.気相・液相の吸着工学、2.バイオマスの反応工学

【所属学会】

1.化学工学会、2.分離技術会、3.日本吸着学会

【研究テーマ】

- 1.移送物性測定法の開発、
- 2.擬似移動床吸着装置用シミュレータ開発、
- 3.PSA吸着装置用シミュレータの開発、
- 4.吸着剤改質法の開発

【著書】

- 1.「圧カスイング吸着技術集成」(分担)工業技術会、
- 2.「多孔質体の性質とその応用技術」(分担)フジテクノシステム

- 日 時 2012年6月13日(水)9:45～16:45
- 会 場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・4F会議室
- 受講料 49,980円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

本セミナーでは、吸着技術の基礎を始め、吸着物性の測定・解析とシミュレータの開発及び活用の留意点、又、吸着分離の操作・装置の設計ポイントに至るまで、斯界の第一線でご活躍中の古谷博士にわかりやすく解説頂きます。

【配布ソフト】

- ・LDF近似と定型吸着帯近似を用いた単成分系破過曲線の推算
(Langmuri型平衡とFreundlich型平衡)

- ・LDF近似と定型吸着帯近似を用いた二成分系破過曲線の推算
(拡張Langmuri型平衡とIAS理論+Freundlich型平衡)
- ・総括物質移動容量係数を用いた非定常単成分系吸着破過曲線の推算(差分法)
- ・単成分系吸着平衡定数の決定
(Langmuri型平衡とFreundlich型平衡)
- ・多成分系平衡関係の推算
(拡張Langmuri型平衡とIAS理論+Freundlich型平衡)
- ・回分式吸着における多成分系平衡吸着量の推算
(IAS理論+Freundlich型平衡)
- ・シャローベッド法における平衡到達率曲線から粒子内拡散係数の決定
- ・固定層吸着破過曲線から粒子内拡散係数の決定
(Freundlich型平衡)

【受講対象と予備知識】

- ・理工系大学レベルの数学の知識を有し、吸着現象を体感した技術者に適する。
なお、基礎から説明するので、数学の知識レベルが不足している場合や現場経験不足でも受講可能。
- ・配布するソフトを理解するためには、エクセルのソルバーおよびマクロを利用できることが望ましい。

【本セミナーでの習得知識】

- ・物性測定法および配布ソフトを利用した解析法。
- ・吸着速度実験結果の簡便な解釈法(作図法)。
- ・数値解が発散しないための計算条件や基礎式の展開法などシミュレータ開発時の重点事項と活用法。
- ・目的に合った吸着分離の操作・装置の設計法

【講師の言葉】

吸着操作・装置の設計法は既に開発されており、固定層充填層を用いた分離法については、従来法でも利用可能である。しかしながら、現在では擬似移動層、PSAおよびハニカム式の装置を用いた分離の利用が多くみられ、これまで以上に吸着平衡と速度に関する物性測定が重要となる。また、これらのシミュレータの開発は充分と言えない。

ここでは、操作・装置設計法とシミュレータ開発法に焦点を当て、それに必要な基礎知識から最先端の知識までについて重要事項と注意点を説明する。特に、近年では「総括物質移動係数」を用いる簡便法が広く普及しているが適用限界についてはあまり述べられていないので、適用限界が発生する原因について簡単に述べる。なお、筆者が学生用に開発したプログラムの一部(参加者に配布する)を用いて例示計算を行うと共に、吸着物性測定における省力化(低コスト化)についても一案を示す。

【プログラム】

I. 吸着技術の基礎知識

1. 吸着現象の定義
 - (1) 吸着と吸収
 - (2) 吸着材(剤)と吸着質
 - (3) 物理吸着と化学吸着
 - (4) 吸着を誘発する原動力
2. 吸着材(剤)の性質・構造
 - (1) 吸着材(剤)の性質と測定法

(2) 吸着材(剤)の物性と吸着特性の関係

II. 吸着物性の測定と解析

1. 吸着平衡の測定と解析
 - (1) 単成分系吸着平衡測定法と結果の表し方
 - (2) 単成分系平衡式の分類とパソコンによる平衡データ解析の演習
 - (3) 多成分系吸着平衡測定法と結果の表し方
 - (4) 多成分系平衡式の分類とパソコンによる平衡データ解析の演習
～多成分系平衡データから単成分系吸着平衡定数の決定法～
2. 吸着速度の測定と拡散係数の求め方
 - (1) 流体境膜における物質移動と粒子内拡散について
 - (2) 単成分系吸着速度の測定法
 - (3) 境膜物質移動係数の推算法と粒子内拡散係数の決定法
 - (4) シャローベッド法による平衡到達率曲線から粒子内拡散係数を求める演習
～解析用ソフトを用いた演習～
 - (5) 固定層吸着破過曲線から粒子内拡散係数を求める演習
～解析用ソフトを用いた演習～
 - (6) 多成分系吸着速度の測定法と解析法
3. 吸着物性測定の省力化 ～素人のパートタイマーを利用した測定手順の提案～

III. シミュレータの開発

1. 吸着モデルの分類
 - (1) 偏微分法
 - (2) 線形推進力(L.D.F)近似法
 - (3) 総括物質移動係数近似法
2. 数値計算近似法の分類と適用限界
 - (1) 有限差分法
特に、偏微分法と総括物質移動係数近似法を用いる際の限界について述べる
 - (2) 直交選点法
特に、本法が適用できる操作条件について述べる
 - (3) Stop & Go 法
特に、本法と差分法の関係および本法の適用限界について述べる
3. シミュレータ開発のための数式モデル
 - (1) 偏微分法を利用した計算式 ～陰解法と陽解法～
 - (2) 線形推進力(L.D.F)近似を利用した計算式
～陰解法と陽解法～
 - (3) 線形推進力(L.D.F)近似と定型吸着帯近似を利用した2成分系破過曲線推算プログラムの演習
 - (4) 総括物質移動係数近似を利用した計算式 ～陰解法と陽解法～
 - (5) Stop & Go法を利用したPSA吸着の計算法 ～陰解法と陽解法～
 - (6) 総括物質移動係数近似を利用した擬似移動層吸着の計算法
～陰解法と陽解法～
4. 数値計算に必要な物性推算法

IV. シミュレータを利用しない吸着分離の操作・装置の設計

1. 固定層における設計
 - (1) ステップ応答法による操作設計
～破過曲線、破過時間の推算～
 - (2) 擬似移動層操法による操作設計
 - (3) PSA法による操作設計
 - (4) クロマト分離法による操作設計
2. 攪拌槽(回分式)吸着における設計

- (1) 回分攪拌槽内における物質収支
- (2) 濃度減衰曲線の推算と操作設計
- 3. その他の操作法
 - (1) 流動層吸着操作の設計
 - (2) 移動層吸着操作の設計
- 4. 脱着装置の設計
- 5. 目的とする吸着分離の最適条件の求め方
 - (1) 吸着分離能力の概算法
 - (2) 吸着促進のポイント
 - (3) 吸着に影響する諸因子とその制御法
- 6. 吸着平衡と吸着速度のどちらが重要なのか

V. 質疑応答

— 名刺交換会 —

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<http://www.tic-co.com/seminar/20120602.html>

■ _____

新規取り扱い書籍情報(10タイトル)

■ _____

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
 詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
 ご案内致しております。

----《 オプトエレクトロニクス 》-----

フォトレジスト材料の評価

<http://www.tic-co.com/books/12ste003.html>

----《 食品関連 》-----

オリゴ糖の製法開発と食品への応用

<http://www.tic-co.com/books/2012t843.html>

抗ストレス食品の開発と展望II

<http://www.tic-co.com/books/2012t839.html>

----《 医薬品・先端医療関係 》-----

ジェネリック医薬品合成マニュアル2012

<http://www.tic-co.com/books/2012s773.html>

ドラッグデリバリーシステムの新展開II

<http://www.tic-co.com/books/2012t847.html>

治験中／市販後における3極安全性情報の収集・報告
 ・評価実務と相違

<http://www.tic-co.com/books/12stp069.html>

-----《 酵素・微生物 》-----

バイオマス分解酵素研究の最前線

<http://www.tic-co.com/books/2012t837.html>

-----《 界面化学 》-----

大気圧プラズマの生成制御と応用技術 改訂版

<http://www.tic-co.com/books/12sta079.html>

-----《 機能性高分子 》-----

高分子の架橋と分解III

<http://www.tic-co.com/books/2012t840.html>

PEDOTの材料物性とデバイス応用

<http://www.tic-co.com/books/12sta078.html>

□ ■ ----- ■ □

セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10

□ ■ ----- ■ □

2012年 3月 1日から 4月30日までの2ヶ月間のセミナー及び書籍のWebページアクセス数Top10を挙げてみました。

..... ★ セミナー Top10 ★

第1位『メカニカルシールの使用条件に合った選定・活用とトラブル改善事例、最近の技術動向』

(4月11日(水)開催) 1489 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120402.html>

第2位『小水力発電(マイクロ水力発電など)の経済性・導入と技術開発動向』

(4月 5日(木)開催) 1391 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120403.html>

第3位『放射性セシウムの抽出・回収・除去と汚染水・土壌等の減容化及び閉じ込め技術』

(4月 6日(金)開催) 731 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120410.html>

第4位 ～プラント関連を中心とした～

『エンジニアのための設備コストの見積法入門』

(4月 5日(木)開催) 623 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120408.html>

第5位 ー水処理・汚泥処理の効率化・低コスト化・省エネを考慮したー

『凝集剤の特性と効果的選定・活用法』

～実演を交えて解説する～

(3月29日(木)開催) 560 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120302.html>

第6位 -Excelソフト付き!! 演習により即活用できる-
『乾燥技術の基礎と実践活用』
~乾燥に関する計算から、装置選定・設計・性能評価、
省エネ・トラブル対策まで、実習を交え平易に解説~
(4月10日(火)開催) 543 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120401.html>

第7位『排水(廃液)中レアメタル及び重金属等の
処理・回収・リサイクル技術』
(4月12日(木)開催) 537 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120412.html>

第8位『天然ガスコージェネレーションシステムの
技術開発動向と各種システム・導入事例等実際』
(4月13日(金)開催) 525 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120413.html>

第9位『波力・塩分濃度差・海洋温度差・海流・潮流発電の
動向と技術開発及び実証・取り組み』
(3月30日(金)開催) 506 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120305.html>

第10位 -電気事業制度の動向と売電関連ビジネスの今後を読み解く-
『電力売電ビジネスの現状と展望』
~PPSから見た電力システムの課題と今後のビジネスの
可能性~
(4月12日(木)開催) 499 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120409.html>

今回は第1位に『メカニカルシールの使用条件に合った選定・活用と
トラブル改善事例、最近の技術動向』がランクイン。

メカニカルシールは、高速のコンプレッサー、ポンプから低速の攪拌
機等の機器、サイズはφ8mmくらいからφ800mmくらいまで、さらには
圧力も真空から20MPaの高圧まで広範な仕様で使われています。

また、取り扱う流体も多岐にわたりますので、それらの使用条件にマ
ッチしたメカニカルシールを選定し使いこなしていくのが重要です。

本セミナーで知り得る知識をもって、現在取り扱われているメカニカ
ルシールが、今後、安定・安全にご使用いただけるものにしていくこ
とへの期待が多くのアクセスを生んだのでしょう。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆

第1位『ジェネリック医薬品合成マニュアル2012』 596 counts
<http://www.tic-co.com/books/2012s773.html>

第2位『エアロゾルデポジション法の基礎から応用まで』
364 counts
<http://www.tic-co.com/books/2008t624.htm>

第3位『表面処理技術ハンドブック』 249 counts
<http://www.tic-co.com/books/01nts006.htm>

第4位『プラスチックオプティカルファイバの基礎と実際』
228 counts
<http://www.tic-co.com/books/01nts005.htm>

第5位『ファインケミカルマーケットデータ'99(1・2巻)』
211 counts
<http://www.tic-co.com/books/1999s733.htm>

第6位『全固体リチウムイオン二次電池の開発と製造技術』
177 counts
<http://www.tic-co.com/books/12sta073.html>

第7位『バイオ活用による汚染・廃水の新処理法』 166 counts
<http://www.tic-co.com/books/2012t841.html>

第8位『水処理膜の製膜技術と材料評価』 160 counts
<http://www.tic-co.com/books/12sta075.html>

第9位『液晶ディスプレイバックライト』 155 counts
<http://www.tic-co.com/books/06sta004.htm>

第10位『最新熱設計手法と放熱対策技術』 141 counts
<http://www.tic-co.com/books/2011t833.html>

第1位に『ジェネリック医薬品合成マニュアル2012』がランクイン。

医療費が急激に増加する中、その抑制のために厚生労働省主導でジェネリック医薬品の普及が進められています。

日本でのジェネリック医薬品の普及率は、現在20%程度にとどまっていますが、欧米諸国ではすでに60%を越えており、高齢化社会が急速に進む日本においても、今後大きく伸びる事が予想されています。

そのため従来の国内ジェネリック医薬品メーカーにとどまらず、新薬メーカーもジェネリック医薬品市場への参入に動いており、海外の大手ジェネリックメーカーも含め、製薬企業間の競争が激化しています。

本書では、対象とする医薬品原体70品目(今後特許切れとなる製品を中心としますが、一部特許切れ品目を含む)、製造プロセスの要となるキー中間体143品目、またその出発原料を115品取り上げている内容が注目されているのでしょうか。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■
E-mail変更・不要について

■ _____ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』
とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス
★ 新E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。
※下記URLでも承っております。

<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。
お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ _____ ■ □
雑記帳
□ ■ _____ ■ □

『牡丹』

鮮やかな色彩、豊富な品種で楽しませてくれる牡丹。

今回は『牡丹』にちなんだ豆知識をお届けいたします。

◎牡丹の語源

牡丹は、古く中国から渡来した植物で、牡丹の「牡」は「オス」の意味で、雄しべや雌しべが花弁に変わり、種子ができていくところから、「牡」と形容されたものとされています。

「牡」は、漢音が「ボウ」で、そのため、古くは「ボウタン」とも呼ばれました。

牡丹の「丹」は「赤」の意味で、ボタンの花の色は黄色や紫・白などさまざまですが、赤い花が基本とされていたことに由来します。

漢語「牡丹」の語源には、ギリシャ語で「植物」を意味する「Botane」の音訳といった説もあります。

引用文献:『語源由来辞典』

◎蕪村と牡丹

俳句において、「牡丹」のみでは夏、初夏の季語。「牡丹の芽」は春、初春の季語。「狐の牡丹」は晩春。「牡丹焚火」は初冬。「冬牡丹」、「寒牡丹」は冬の季語となります。

与謝蕪村は松尾芭蕉、小林一茶と並ぶ江戸俳諧の中興の祖ですが、俳画の創始者でもあります。

蕪村は「牡丹」を好み、題材にした句を多く詠んでいます。

ここではその中でも私の好きな句をあげてみました。

牡丹散てうちかさなりぬ二三片

閻王(えんおう)の口や牡丹を吐かんとす

寂として客の絶間のぼたん哉

地車のとどろとひびく牡丹かな

ちりて後おもかげにたつぼたん哉

虹を吐てひらかんとする牡丹かな

ぼうたんやしろがねの猫こがねの蝶

◎与謝野晶子と牡丹

情熱の歌人といわれた与謝野晶子は生涯で5万首の歌を遺していますが、「牡丹」を詠んだ歌も数多くあります。

魅力的な数首をあげてみました。

おりたちてうつなき身の牡丹見ぬ
そぞろや夜を蝶のねにこし

君に似し白と濃紅とかさなりて
牡丹ちりたるかなしきかたち

恋か血か牡丹に尽きし春のおもひ
とのゐの宵のひとり歌なき

胡蝶こそ牡丹に眠れ人の子は
心をどりて止むべくも無し

行く春にもとより堪へぬうまれぞと
聞かば牡丹に似る身を知らむ

◎獅子と牡丹

「取り合わせの良いこと」の例として「梅に鶯」「紅葉に鹿」「竹に虎」と同様に「獅子に牡丹」が用いられます。

これは百獣の王として君臨する「獅子」と百花の王「牡丹」が組み合わせられたものです。

百獣の王、獅子がただ一つ恐れるものに「獅子身中の虫」がありません。

「獅子(しし)身中(しんちゆう)の虫」とは

《獅子の体内に寄生して、ついには獅子を死に至らせる虫の意》

- 1 仏徒でありながら、仏法に害をなす者。
- 2 組織などの内部にいながら害をなす者や、恩をあだで返す者。

[補説]「獅子心中の虫」と書くのは誤り。

引用文献:『goo辞書』

しかし、この害虫は牡丹の夜露にあたると死んでしまうとされています。

獅子は夜になると牡丹の下で休み、獅子にとって牡丹が安息の地になりました。

そこから「獅子に牡丹」は取り合わせの良い縁起ものとして、常に「死」と対峙していた武士の鎧や兜の文様に取り入れられ、広がりました。

昭和の任侠映画では高倉健さんが歌う♪♪背中(せな)で吠えてる唐獅子牡丹♪♪が有名ですね。

◎猪と牡丹

鍋料理に牡丹(ボタン)鍋がありますが、猪肉を使った鍋です。

ではなぜ、猪の肉を牡丹というのでしょうか？

仏教の国教化に伴い奈良時代には肉食禁止令が出されました。

しかし当時から江戸時代まで、日本人が全く肉を食べなかったわけではありません。

表向きには禁止とされている肉を食べるため、動物の肉に植物の名前を付け隠語にし「薬食(くすりぐ)い」と言って食べていました。

○猪の肉が牡丹のように赤いのと肉の盛りつけが牡丹の花のようであることから、猪肉は牡丹。

○肉の色が桜色なのと桜の咲く時期が馬肉が一番おいしいから、馬肉は桜。

○「奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の声聞く時ぞ秋はかなしき」の歌から鹿肉は紅葉(モミジ)。

では鶏肉はなんというのでしょうか？

関西の人は今でも普通に使っています。

答えは柏(カシワ)です。

鶏肉をかしわと言うのは、羽が茶褐色の鶏が柏の葉に似ていること

からとされています。

徳川家康が駿府から一軒の薬石屋(肉を食べさせる店)を連れてきたのがきっかけで、江戸の町には、たちまち百軒以上の薬石屋が出来たといわれています。

前出の蕪村も「薬喰」を詠んでいます。

薬喰隣の亭主箸持参

客僧の狸寝入やくすり喰

ちなみに「薬喰」は冬の季語です。

あとがき全体を通しての出典:フリー百科事典

『ウィキペディア(Wikipedia)』

牡丹に関するいろいろな豆知識をお届けしました。

白猫を抱けるごとし白牡丹

白井芳雄

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等 melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 0120-06-0140/06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com